



にじのはし幼稚園 園だより



令和7年6月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 飯田美弥

先日行われたにじのはし幼稚園・お台場学園合同運動会には、多くの皆様にご参観いただきありがとうございました。友達や先生と一緒にダンスやかけっこを楽しんでいる様子をご覧いただき、入園・進級後の園児たちの成長を感じていただけたことと思います。また、子どもたちは運動会前から、目の前で行われる小学生や中学生の競技や演技を肌で感じ、たくさんの刺激を受けていました。これからも、お台場学園と連携し、幼稚園の子どもたちが、お兄さんお姉さんのように大きくなるのが楽しみになるような交流・連携を続けていけたらと思います。



にじのはし幼稚園は、教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、遊びや生活を通した豊かな学びを保障します。



○幼児が主体的に場や物、人に関わって遊ぶ環境の構成を工夫し、幼児の興味や関心、発達や時季を踏まえた教材を工夫します。絵本や行事、幼児の実体験など体験の多様性と関連性を踏まえた環境を意識し、学びが深まる豊かな体験を保障します。遊びの伝承や多様性、質の確保のため『にじっこタイム』を設定し、異年齢交流の充実を図ります。

(幼稚園経営計画 4 経営の重点の今年度の主な取り組み (2)②より)

幼稚園では、5月には幼小中合同運動会の他にも、親子わくわくデーや地域の方によるお話し会、5歳児いるか組はタグラグビー、海博士のお話し会、地引網体験、在宅サービスセンター訪問などたくさんの行事がありました。実際には、行事の日当日だけではなく、その行事前に活動を積み重ねたり、行事後の生活や遊びにつながるように保育の流れを設定したりしています。イベントのように当日だけ楽しいというのではなく、その日までワクワクしたり、その日の後も余韻を楽しんだりという一連の流れの中で、子どもたちは行事を体験していきます。そのため、幼稚園では行事の前後も大切だということを是非知っておいてほしいと思います。

また、先日の幼小中合同運動会では、PTA来賓地域行事の綱引きに参加しました。その時に、同じチームになった保護者の方が「園長先生を勝たせます！」と言ってくれて、心強かったです。そのお陰で、今年は勝つことができましたが、勝てたこと以上に、応援されるうれしさを実感しました。幼稚園の子どもたちが様々な行事に向かうとき、心配や不安を抱えることがあるかもしれません。そんな時、周りの大人や友達が見守ったり励ましたり力を貸したりしてくれることは、何よりも大きな力になるのではないかと思います。

梅雨入りの便りも聞こえ、蒸し暑い日が多くなりますが、1学期の後半も、行事とともにこの時期ならではの楽しい遊びができるよう工夫していきます。今月もどうぞよろしく願いいたします。

